

東京都手話サークル連絡協議会

2015 年度 第 1 回代表者会議

## 総 会 議 案 書



2015 年 4 月 29 日 (祝) 13 : 00 ~ 16 : 30

於 : 世田谷区 下北沢らぷらす

東京都手話サークル連絡協議会  
2015年度 第1回代表者会議（総会）

司会：事務局長

1. 代表あいさつ
2. 議長選出
3. 総会成立の確認（2014年度 加盟数26 / 定足数14）
4. 2014年度 活動報告
  - 1) 総括
  - 2) 事務局報告
  - 3) 広報班 活動報告
  - 4) 一日研修会報告
    - ① ブロック企画
    - ② 事務局企画
  - 5) 各委員会報告
    - ① 福祉対策会議
    - ② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会
    - ③ たましろの郷後援会役員会
    - ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会
  - 6) 協力行事報告（①② 実行委員会・③④ 当日要員）
    - ① 自立支援センターまつり
    - ② 耳の日記念文化祭
    - ③ たましろフェスタ2014 in 府中
    - ④ 第26回 ろう教育を考える全国討論集会
  - 7) 質疑応答
5. 2014年度 活動報告 一括承認
6. 2014年度 会計報告
  - 1) 収支決算報告
  - 2) 会計監査報告
  - 3) 質疑応答
7. 2014年度 会計報告 承認
8. 2015年度 活動（案）
  - 1) 活動方針(案)・質疑応答
  - 2) 年間計画(案)・質疑応答
  - 3) 予算(案)・質疑応答
  - 4) 規約改正・質疑応答
  - 5) 公益法人 社員について・質疑応答
9. 2015年度 各案 個別採決
10. 役員改選
11. 今年度会計監査担当ブロック確認
12. 議長退任
13. その他

## 2015年度 総会資料 目次

### 1. 2014年度 活動報告

- 1) 総括 ..... 2頁
- 2) 事務局報告 ..... 3～5頁
- 3) 広報班 活動報告 ..... 6頁
- 4) 一日研修会報告
  - ① ブロック企画 ..... 7頁
  - ② 事務局企画 ..... 8～9頁
- 5) 各委員会報告
  - ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議 ..... 10～11頁
  - ② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会 ..... 12頁
  - ③ たましろの郷後援会役員会 ..... 13頁
  - ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会 ..... 14頁
- 6) 協力行事報告（①②実行委員会・③④当日要員）
  - ① 自立支援センターまつり ..... 15～18頁
  - ② 耳の日記念文化祭 ..... 19～20頁
  - ③ たましろフェスタ2014 in 府中 ..... 21頁
  - ④ 第26回 ろう教育を考える全国討論集会 in 東京 ..... 22頁
- 7) 2014年度 収支決算報告 ..... 23頁

### 2. 2015年度 活動（案）

- 1) 活動方針（案） ..... 24頁
- 2) 年間計画（案） ..... 25～26頁
- 3) 予算（案） ..... 27頁
- 4) 会則（案） ..... 28～29頁

### 3. 役員改選 ..... 30頁

# 1. 2014年度 活動報告

## 1) 総括

東京都手話サークル連絡協議会  
代表 高田 直樹

平成 26 年度の東京都手話サークル連絡協議会(都サ連)は、26 サークルでスタートしました。都サ連の加盟サークル数の減少に危機感があり、広報班を中心に加盟サークルを訪問し、都サ連の存在の意義をお話しさせて頂いたり、未加盟サークルに対しては、東京都聴覚障害者連盟を通して「加盟のお願い」の文書を配布させて頂きました。また、大学の手話サークルを訪問し、情報交換をすると共に一日研修会にも来て頂くことができました。

聴覚に障害のある方々の基本的な人権を守り情報格差をなくし、福祉の向上や力強い運動を目指すためには、都内の手話サークルが結束し、運動団体としての力を結集させなければなりません。これからの都サ連が結束し、東京都聴覚障害者連盟との強力な協力関係を構築するためにも、加盟サークルの力を貸して頂きたいと思っております。是非ともよろしくお祈りいたします。

障害者権利条約は、2006 年 12 月 13 日に国連総会において採択され、2008 年 5 月 3 日に発効しました。我が国は 2007 年 9 月 28 日に、高村正彦外務大臣(当時)がこの条約に署名しました。その後 2011 年には 障害者基本法の改正、2013 年には障害者差別解消法が成立するなど、国内法を整備し、2014 年 1 月 20 日に批准書を寄託し、同年 2 月 19 日に同条約は我が国について効力を発生しました。この障害者権利条約は、人権条約です。障害者の人権は、今まで必ずしも守られていなかった面があります。批准を機に、障害をもつ人の権利や尊厳を守り、「障害に基づくあらゆる差別」のない国にしなければなりません。

昨年 12 月 12 日には『手話言語法の制定を求めるパレード』が東京で行われました。心配だった前日の雨も上がり、全国から 700 人を超える人たちが日比谷公園に集まりました。オレンジ色をイメージカラーにし、全日本ろうあ連盟が準備したタツノオトシゴが描かれたオレンジ色の軍手をした人、「手」「話」と書いた紙、自作のプラカードを持った人々の大集合です。霞門を出発し、新橋を通り、銀座までパレードとシュプレヒコールを行いました。

都サ連からも大勢の参加があり、全日本ろうあ連盟の運動を支えることができたと自負しています。聞こえない人たちが自身の権利を獲得、行使するために、これからも共に力を合わせて運動を進めていきたいと思っています。

都サ連が活性化するために、代表者会議の中で話し合ってきました。まだまだ課題の積み残しは多いのですが、その解決に向けて話し合っていくと共に、聴覚に障害のある方々はもちろん、全ての障害者の完全参加と平等を目指し一層の努力をしたいと考えております。

都サ連としましては、私たちの進むべき方向性を再確認し、地域で活動する手話サークルが結束することで、活動の門扉を広げることができると考えています。確かに一人ひとりの力は微々たるものかもしれませんが、その力を合わせれば必ず大きな運動に繋がると信じています。その運動は必ず実を結び、花を咲かすことが出来ると信じています。これからは自分の地域の問題を考えるだけでなく、東京都や全国の障害を持つ人の完全参加と平等を目指し、都内の手話サークルや関東・全国の手話サークルと力を合わせ運動の輪を広げていきたいと思っております。

## 2) 事務局報告

事務局長 河野悠子

### 1. 2014年度 加盟サークル … 26サークル

ブロック	サークル名	地域	ブロック	サークル名	地域
城南 (7)	大田区手話サークル	大田区	多摩北 (3)	手話サークルむさしの(昼)	武蔵野市
	港区手話サークル 麦の会	港区		手話サークルむさしの(夜)	〃
	手話サークル「て」	〃		立川手話こぶしの会	立川市
	品川手話サークル	品川区			
	めぐろ手話の会	目黒区			
	手話サークル たんぽぽ	世田谷区			
	渋谷手話の会	渋谷区			
城北 (10)	手話サークル江東	江東区	多摩南 (6)	八王子手話サークル 桑の実会	八王子市
	手話サークル葛飾	葛飾区		八王子手話サークル 「山吹会」	八王子市
	北区手話サークル	北区		府中市手話サークル かんたん	府中市
	板橋手話サークル	板橋区		手話サークル「てとて」	府中市
	手話サークル 練馬こぶし会	練馬区		手話サークル まちだ	町田市
	だるま会	中野区		多摩市手話サークル 「クローバー」	多摩市
	手話サークル 杉の会	杉並区			
	文京手話会	文京区			
	新宿区手話サークル	新宿区			
	手話サークル「すみだ」	墨田区			

### 2. 2014年度役員

代表	高田 直樹 (たかだ なおき)	手話サークル まちだ
事務局長	河野 悠子 (かわの ゆうこ)	板橋手話サークル
会計	剣持 敦子 (けんもち あつこ)	だるま会

### 3. 会議等開催実績

#### (1) 代表者会議

回	月	日	曜	内容	開催会場	参加数
1	4	29	祝	定期総会	東京都障害者福祉会館	出席 20・委任 3
2	6	29	日	例会	府中市 中央文化センター	20サークル
3	8	24	日	例会	北区 赤羽北ふれあい館	15サークル
4	10	26	日	例会	立川市 高松学習館	14サークル
5	12	7	日	例会	渋谷区 リフレッシュ氷川	16サークル
6	2	22	日	例会	府中市 中央文化センター	16サークル

※ 会議等の詳細は「各回の代表者会議 記録」をご参照ください。

## (2) 事務局会議

回	月	日	曜	開催会場	出席数	備考
1	4	3	木	世田谷区 下北沢らぷらす	4	
2	4	10	木	世田谷区 下北沢らぷらす	4	臨時事務局会議
3	4	13	日	板橋区障がい者福祉センター	3	議案書印刷・発送
4	5	1	木	世田谷区 下北沢らぷらす	5	
5	6	4	水	世田谷区 下北沢らぷらす	10	
6	7	2	水	世田谷区 下北沢らぷらす	8	
7	8	6	水	世田谷区 下北沢らぷらす	6	
8	9	3	水	世田谷区 下北沢らぷらす	11	
9	10	1	水	世田谷区 下北沢らぷらす	10	
10	11	5	水	世田谷区 下北沢らぷらす	8	
11	12	3	水	世田谷区 下北沢らぷらす	9	
12	1	7	水	世田谷区 下北沢らぷらす	7	
13	2	4	水	世田谷区 下北沢らぷらす	8	
14	3	4	水	世田谷区 下北沢らぷらす	7	

※ 会議の詳細は「各回の事務局会議 記録」をご参照ください。

## (3) 一日研修会

回	月	日	曜	担当	開催会場	来場者数
1	10	19	日	城南ブロック	ヒューマンぷらざ	131名＋4名
2	1	18	日	事務局	日大文理学部	233名＋4名

## 4. 2014年度の主な活動

### (1) 代表者会議の開催（年6回：開催日は3-(1)参照）

<今年度の主な課題>

- ① 都サ連を知る・都サ連を知ってもらう。
- ② 加盟サークル同士を知る。
- ③ 都サ連だから出来ることを考える。

<課題に対する活動>

- ① 区市会長会議において、地域サークルに対して都サ連への加盟を勧めてもらう文書を、東聴連の協力を得て各区市会長宛てに配付した。  
都サ連パンフレットを改定（年表・組織図などを追加）、耳の日に3000部配布した。
- ② 加盟サークルの活動日一覧表の配付。  
サークルからの疑問・質問に対する情報交換。  
模擬例会（評判の良かった例会内容の紹介）。
- ③ コミュニケーションボード設置状況に対するアンケートに協力。200通を超える回収により、設置状況が19%であるという現状が判明。選挙管理委員会との交渉の貴重なデータとなった。  
12月12日「手話言語法制定を求めるパレード」に、7サークル約40名が、都サ連から参加した。

(2) 事務局会議の開催（開催日は3-(2)参照）

<今年度の主な課題>

①役員・各委員・各担当者の事務局会議への関わり方を再確認する。

<課題に対するの対処>

①事務局会議への出席者の拡大

代表・事務局長・会計・広報班・事務局員に加え、各委員・各実行委員にも参加をお願いし、メンバーを8名から15名に増員した。

②事務局会議のシステム化

事前準備（開催通知・出欠確認・議題の作成・各委員会報告の掲載など）

事後処理（記録案の作成・チェック・正式記録の作成・加盟サークル配信）

事務局MLによるメンバー間の情報共有

(3) 一日研修会の開催（年2回：詳細は一日研修会報告を参照）

①第1回（10/19）…城南ブロック担当

メインテーマ「ろう者と権利」

1部：性の多様性      2部：ろう者と言語権      3部：ディスカッション

②第2回（1/18）…事務局企画

午前「私と母とのかかわり」

講師：早瀬 憲太郎氏

午後「手話と私」

講師：石原 茂樹氏

(4) 会報「都サ連通信」発行（年6回）

<主な掲載記事>

各委員会報告・広報班活動報告・一日研修会報告・行事協力報告・行事参加報告 等

<課題>

昨年、会報の形態・掲載記事の内容・活用方法等について疑問が出され、意見交換・情報交換を行ったが、今年度は、会報に関する疑問等はなかった。

(5) 以下の会議に構成団体として参加（詳細は各委員会報告参照）

① 東京都聴覚障害者福祉対策会議

② 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会

③ 自立支援センター運営委員会

④ たましろの郷後援会役員会

(6) 以下の行事に実行委員または要員として参加協力（詳細は各協力行事報告参照）

① 第16回 自立支援センターまつり（7/21）      都サ連要員数 25名

② たましろフェスタ2014 in 府中（10/27）惣菜パンの販売      5名

③ 第26回 ろう教育を考える全国討論集会（8/2・8/3）      2日間延べ 115名

③ 第44回 耳の日記念文化祭（2/27・2/28・3/1）      3日間延べ 116名

(7) 単年度会計へ向けての努力（継続）

① 事務局長宅のFAXを年経費2,000円にて借用。

② 一日研修会の内容を充実させ、幅広く参加を呼び掛け、黒字を目指す。

③ 加盟サークル数が30サークルを超えるよう協力して働きかける。

### 3) 広報班 活動報告

広報班 大木知也 (八王子手話サークル山吹会)  
山崎 晋 (手話サークル練馬こぶし会)

26年度は6月12日(木)の「国分寺手話サークル」訪問から広報班のサークル行脚はスタートしました。1週間後の19日には東京大学手話サークル「しゅわっち」、更に月末の6月30日に北里大学手話部(白銀)、翌月には7月7日に帝京大学手話サークル com&com と7月15日の夜に西東京市手話サークル「山茶花の会」を訪問しました。都サ連加盟にはなかなか結びつかないもののPR活動を続けました。

4月の段階で15ほどの未加盟サークルに訪問許可の要請を送りましたが、返信があったのは国分寺と山茶花だけでした。そこで学生サークル訪問を活動の中心に据えて学園祭も含めて交流の輪を広げて来ました。

学祭などのお知らせを頂いた大学へはその際に全て訪問し、まだ連絡のない大学とも直接連絡を取るべく更に5箇所以上の学祭を巡りました。学祭でコンタクトをしてすぐ11月13日に帝京大学手話サークル poco a poco の活動へも訪問しています。

現状学生サークルとは加盟交渉はしていませんが、加盟サークルの皆様からご理解と応援をいただき、堂々と訪問することが出来ました。お蔭で未加盟サークル、学生サークル共に、都サ連一日研修会への招待参加や、催し事へ足を運んだとの声もあり、都サ連を知ってもらう機会を作れたことは、以前ご報告した通りです。

今まで4年間の広報班の活動で加盟サークルが増えていないことについては努力不足を反省しお詫びするとともに、今後も今まで同様のご理解ご支援を宜しくお願い致します。

#### 26年度 訪問サークル (6サークル)

- 6/12 国分寺手話サークル
- 6/19 東京大学手話サークルしゅわっち (駒場)
- 6/30 北里大学手話部 (白銀)
- 7/7 帝京大学手話サークル com&com
- 7/15 西東京市手話サークル「山茶花の会」
- 11/15 帝京大学手話サークル poco a poco

#### これまでの訪問サークル (29サークル)

八掌の会 (昭島市) 鷹の会 (三鷹) 小金井手話サークル 福生手話サークル  
国立ハンズメイト 品川手話サークル 港区手話サークル麦の会 北区手話サークル  
多摩市手話サークル「クローバー」 日野手話サークル 大田区手話サークル  
文京手話会 東京福祉大学手話サークル 手話サークルむさしの (夜)  
豊島区手話サークル手響 あきる野市虹サークル 手話サークル「すみだ」  
新宿区手話サークル 渋谷手話の会 法政大学手話サークルわたがし  
早稲田大学手話さあくる 明治大学手話サークル La main  
東京理科大学手話サークル SSL 慶應義塾大学手話サークル M i M i  
手話サークルたんぼぼ 昭島市手話サークル F.C 中野だるま会 手話サークル杉の会  
日本大学文理学部手話研究会 PEACE



## 4) 一日研修会報告

### ① ブロック企画 (城南ブロック)

城南ブロック一日研修会実行委員

#### 【実施報告】

実施日：2014年10月19日(日) 10:00～16:00

会場：港区立障害保健福祉センター (ヒューマンぷらざ 6F)

テーマ：「ろう者と権利」

講演①/Deaf-LGBT-Center 代表 山本芙由美氏

講演②/私立明晴学園監事 弁護士 小嶋勇氏

ディスカッション&質疑応答

来場者：135名 (21加盟サークル/110名・東聴連青年部4名・一般17名・招待4名)

#### 【収支報告】

収入 … 139,500円 (内訳：参加費  $1,000 \times 114 + 1,500 \times 17 = 139,500$ )

支出 … 191,847円 (内訳：謝礼110,000、要員手当73,420、諸経費8,427)

残金 … △52,347円

2014年度に入り、すぐに実行委員会を立ち上げ、メーリングリストで情報共有をしながら月1回程度会議を開き、話し合ってきました。その結果、開催日を春夏とすることが難しく、イベントが多い秋となってしまいました。行事がぶつかり参加できない方もいたことが来場者数の減少の一因となったと思います。準備は年度が変わる前から始め、秋前の開催が良かったと感じました。また、マニュアルや過去の記録がないために準備項目がつかめず、事務局に承認が必要な項目も明確ではなかったため、いろいろと戸惑うことも多くありました。

会計においては、来場者数の減少に加え、講師を遠方より招いたために講師謝礼が上がってしまい、会場費は無料であったにも関わらず赤字となってしまいました。予算立案において、通訳料や講師謝礼金、また交通費や宿泊費の扱いについて都サ連としての設定の目安のようなものがあると、予算が立てやすかったかと思いました。

講演内容としては、アンケートの結果からもとても好評でした。講演①では、ろうLGBTという馴染みの薄い言葉に対する理解が深まり、講演②では難しい法律関係の話を分かりやすく楽しく教えていただき、どちらも勉強になったとの感想をいただきました。また、山本講師からはパンフレットを多数寄付していただき参加者に配布しました。今後サークル内での勉強会などに使っていただけたらと思います。

実行委員は事前準日から当日まで役割分担をして協力し合って行えたと思います。しかし、実行委員長を決めていなかったために、諸問題に対する対応に時間がかかってしまいました。色々と大変なこともありましたが、事務局や通訳協力、お手伝いしてくださったサークル会員のみなさまに支えられて研修会を開催することができました。ありがとうございました。

## ② 事務局企画

事務局

### 【実施報告】

実施日：2015年1月18日（日）10:00～16:00

会場：日本大学 文理学部 3号館 3205 教室

内容：午前の部（10:00～12:00）

「私と母とのかかわり」 講師 早瀬憲太郎氏

午後の部（13:30～15:30）

「手話と私」 講師 石原茂樹氏

来場者：237名（22加盟サークル/223名・一般7名・当日3名・招待4名）

### 【収支報告】

収入 … 241,000円（内訳：参加費1,000×223+1,500×10=238,000 寄付3,000）

支出 … 132,167円（内訳：謝礼102,000、要員手当16,000、諸経費6,459 交流会7,708）

残金 … 108,833円（残金は本部会計へ）

### 【準備】

借用会場：3号館 3205 教室（メイン会場 15脚×16列）

3202 教室（講師控室）

3201 教室（要員クローク）

借用機材：マイク3（ピン・ワイヤレス・コード付）・引出式スクリーン1

PC 通訳用プロジェクター1・案内板3・各種コード・駐車カード

3205 教室（備付け：スクリーン2・PC2・プロジェクター1）

案内板設置箇所：正門正面・3号館へ右折表示・昇りエレベーター脇

大学との事前打合せ：第1回 11月23日（日） 第2回 1月15日（木）

### 【担当】

集合：8時30分 3号館1階ロビー

会場設営（案内板設置、控室整備、受付機の運搬など）：事務局全員

受付3：遠藤有子・林紀子・山田恵理子

会計1：剣持敦子・（補佐1）森野郁子

講師接待：杉石めぐみ（※早瀬氏到着9時30分・石原氏到着13時）

機材（マイク、スクリーン、PPT 接続など）の設置及び調整1：清水恵美

司会：天野京子

ビデオ撮影：大木知也

情報保障：PC 通訳（4名） 手話通訳（3名）

全体調整：河野悠子

## 【アンケート】

参加者 237 名      アンケート回収 165 枚      回収率 約 70%

◇早瀬さん・石原さんとも「大変良かった」との意見が大半でした。

・早瀬さん…

第2弾を企画してほしい。(他の引き出しも聞きたい)  
お母さまの講演も聞きたい。

・石原さん…

都サ連の歴史・考え方・役割がよくわかった。  
都サ連の活動力のすごさを感じた。  
手話サークルの役割を再認識できた。  
サークルの存在意義を改めて感じる事が出来た。

◇会場についても良かったという意見が多数でした。

- ・駅からのアクセスが良い。
- ・会場がきれい。
- ・階段状の席で見やすい。
- ・トイレが多くきれい。
- ・空調がちょうどよかった。(暑かったという意見もあり)
- ・机とイスの間隔が狭いという意見も数件あり。(学生仕様のため?)

◇全体についての意見

- ・両講演ともあっという間で、時間が足りなかった。
- ・講演の組み合わせが良かった。
- ・情報保障がしっかり出来ていた。
- ・都サ連の企画の素晴らしさに感銘した。
- ・運営も流れもスムーズで参加し易かった。
- ・初めて参加したが、次回からも参加したい
- ・昼休みもたっぷりあって良かった。(1時間で充分との意見もあり)

◇その他

- ・スタッフへのねぎらいの言葉も沢山頂きました。

ご参加頂いた皆さま、お手伝い頂いたスタッフの皆さま、お陰さまで有意義な一日研修会になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。  
ありがとうございました！

## 5) 各委員会報告

### ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議

委員 高田直樹 (手話サークル まちだ)  
林 紀子 (手話サークル 杉の会)

福祉対策会議は、原則毎月第一月曜日に開催され、全国の動向を捉えつつ、東京における聴覚障害者の福祉向上を目指し、議論を行っています。東京都手話サークル連絡協議会（以下、都サ連）は構成団体のひとつであり、会議記録作成も担当しています。記録は、全国要約筆記問題研究会東京支部と東京都要約筆記サークル連絡会の三団体が交代で行い、都サ連担当の時は、事務局と共に加盟サークルにも協力をいただきました。ありがとうございました。

さて、2006年の国連総会で『障害者の権利条約』が採択され、「手話は言語」であることが世界的に認められることになりました。日本が2007年に署名してからは、急速な勢いで制度改革が進められてきました。2011年に『障害者基本法』が改正され、「言語に手話を含む」ことが明記されることにより、大きく前進しました。そして、2013年に『障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律』が成立し、2014年には『障害者の権利条約』を批准するに至りました。次の一步を目指す運動が広がり、『手話言語条例』は、鳥取県を皮切りに地方議会で次々と採択、施行されています。12月には『手話言語法の制定を求めるパレード』が行われ、全国から700名を超える人たちが日比谷公園に参集しました。都サ連からも数多くの人参加し、有楽町まで行進とシュプレヒコールを行いました。また東京では、6月～7月の間を「手話言語法東京推進行動月間」と定め、集中的に「手話言語法制定を求める意見書」の提出行動に取り組みました。その結果、この3月までにはほとんどの区市町村で採択され、年度明け早々には100%達成となる見込みです。

「手話は言語である」ことが、実際の生活に活かされるようにするためには、具体的な法整備や施策が必要です。ろう者は、音声言語と手話を対等に学ぶことができる、どこでも自由に手話が使え、いつでもどこでも情報を獲得できるという環境を整備するためには、手話言語法の制定が必要なのです。

福祉対策会議は、手話言語法（仮称）、情報・コミュニケーション法（仮称）の制定運動を通じて、誰もが安心して暮らせる社会を目指して運動を続けています。

#### 【話し合いの主な内容】

- ① 手話言語法（条例）制定への取り組みについて。
- ② 意思疎通支援事業への取り組みについて。
- ③ 東京地方裁判所裁判員裁判における手話通訳と要約筆記の入札問題について。
- ④ 東京都への要望と東京都福祉局との福祉懇談会について。
- ⑤ 参政権保障委員会の取り組み（コミュニケーションボードの普及、投票所のバリアフリー、衆議院議員選挙など）について。
- ⑥ 情報提供施設への取り組みについて。
- ⑦ 民間の派遣団体が行う手話通訳派遣について。
- ⑧ 「We love コミュニケーション」「手話でGo!」パンフの取り組みについて。

《2014年度 主な会議日程》

- 4月7日 第88回 福祉対策会議
- 6月2日 第89回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 7月7日 第90回 福祉対策会議
- 8月21日 第34回 聴覚障害者施策推進地域担当者会議（地域担当者会議）
- 9月1日 第91回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 10月6日 第92回 福祉対策会議
- 11月10日 第93回 福祉対策会議
- 12月1日 第94回 福祉対策会議
- 1月22日 第35回 地域担当者会議（記録：都サ連）
- 2月2日 第95回 福祉対策会議
- 3月2日 第96回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 3月26日 第36回 地域担当者会議

《記録担当者》

- 6月2日 勝野美佳子（板橋手話サークル）・河野悠子（都サ連事務局）
- 9月1日 山田恵理子（手話サークルたんぽぽ）・河野悠子（都サ連事務局）
- 1月22日 山田恵理子（手話サークルたんぽぽ）・河野悠子（都サ連事務局）
- 3月2日 剣持敦子（だるま会）・河野悠子（都サ連事務局）

【構成8団体】

- 公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
- 認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会
- 認定NPO法人 東京盲ろう者友の会
- 東京都手話通訳問題研究会
- 東京都登録要約筆記者の会
- 全国要約筆記問題研究会東京支部
- 東京都手話サークル連絡協議会
- 東京都要約筆記サークル連絡会

## ② 公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会

運営委員 杉石めぐみ（手話サークル練馬こぶし会）  
高田 直樹（手話サークルまちだ）

自立支援センターは、聴覚障害者の問題、手話の普及啓発事業として上級手話講習会、素晴らしい手話の世界(手話講座)、特別講演等を企画・実施しています。また、就労支援・生活支援などの相談支援事業や、12月には第二土曜日の夜18～21時に「ふれあいサロン」を開きました。

昨年度まで都サ連は1名枠でしたが、今年度から2名となり、高田と杉石が運営委員として、自立支援センターの運営に関わっています。

運営委員会は原則第二土曜日10～12時自立支援センター多目的室にて開かれます。

2014年度 運営委員会の開催日は以下の11回でした。

4月12日(土)、5月10日(土)、6月7日(土)、7月12日(土)、8月は夏休み  
9月13日(土)、10月11日(土)、11月8日(土)、12月13日(土)、1月10日(土)、  
2月14日(土)、3月14日(土)

運営委員は総務部(財務含む)・自立支援事業部・手話啓発事業部(杉石)・センター啓発事業部(高田)にわかれて担当します。

その他、7月21日(海の日)の「第16回自立支援センターまつり」では、都サ連はスタンプリナー・福引・似顔絵コーナーを担当し、運営委員としては会計を担当しました。

2月28日(土)・3月1日(日)の「耳の日記念文化祭」では、自立支援センターはバザーと模擬店(甘酒・お汁粉)を出店しました。

### 【構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会  
東京都手話通訳問題研究会  
東京都手話サークル連絡協議会  
渋谷区聴覚障害者協会

### ③ たましろの郷後援会役員会

役員 戸部沙織（大田区手話サークル）  
天野京子（品川手話サークル）

今年度は都サ連から2名、後援会役員として参加しました。主に「たましろフェスタ」や、「手話で語る戦時体験」などの活動を中心に行い、また事業部としてはカレンダーの製作や「たましろの郷見学・交流バスツアー」の企画などを行いました。さらに後援会として、皆様に「たましろの郷」「ろう重複者」のことを知っていただき、都内聴覚障害者の福祉事業充実に取り組む「社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会」を全面的に支える活動資金の一環にご協力頂きたく、以下のような活動や行事を企画・運営しました。

- ・たましろの郷活動報告集会
- ・手話で語る戦時体験（自立支援センターとの共催）
- ・たましろの郷見学・交流バスツアー
- ・たましろフェスタ
- ・耳の日ナイトバー
- ・たましろの郷ニュースの作成・配信
- ・後援会活動や施設を知っていただくための講座
- ・球根・カレンダー販売
- ・牛乳パック募金箱

また、今年度は日頃のみなさまのご支援に感謝の気持ちを込めて「字幕入り 16 mmフィルム映画を見る会」を企画し、懐かしい映画の上映会を行いました。「手話で語る戦時体験」は今年度をもって終了となりますが、今後は新たな企画をしていく予定です。

これからも皆さまのあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

#### 【構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
認定 NPO 法人 東京都中途失聴・難聴者協会  
東京都手話通訳問題研究会  
東京ろう重複者とあゆむ会  
東京都手話通訳者協会  
東京都手話サークル連絡協議会  
福保労東京手話通訳等派遣センター分会  
たましろの郷世田谷委員会(世田谷)  
たましろの郷板橋後援委員会(板橋)  
八王子たましろの郷後援会(八王子)  
葛飾たましろの郷後援会(葛飾)  
たましろの郷練馬後援委員会(練馬)  
ひのたましろの郷後援会(日野)

## ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会

委員 三村和成（めぐろ手話の会）

本委員会は毎月第3月曜日に定例会議を開催し、委員会の方向性や情報保障のあり方について話し合った。

主な活動は、選挙に関連して、各政党への手話通訳および字幕付加などの働きかけを行ない、また、政見放送を録画し字幕を付けて、聴覚障害者向けにビデオ上映会を行なった。本委員会で作成したコミュニケーションボードを各投票所へ配置してもらい働きかけも、例年通り行った。昨年と同じく、本年も都選挙管理委員会との意見交換会を行なった。

本年度は、12月に衆議院の解散があり、12/13に政見放送のビデオ上映会を行なった。上映に際して、アンケートを行い19名からの回答を得た。アンケート集計結果は、委員会内で、今後の活動に役立てる予定である。昨年の選挙に引き続き、選挙におけるインターネットの活用が、幅広く行われるようになってきた。これにより、健常者と聴覚障害者との情報格差は、以前に比べて、縮まりつつあるように感じられる。今後も、選挙におけるインターネットの活用を期待したい。また、政見放送における、手話通訳および字幕の活用が少しずつ定着してきつつあるように感じられる。今後は、すべての政見放送に字幕および手話通訳が付くように活動していきたい。

近年、選挙に関する情報が、政見放送だけでなく、インターネットなどの新しいチャンネルから得られるようになってきている。これにより、健常者-聴覚障害者間の情報格差が無くなっている。しかし、依然として、政見放送や街頭演説に関しては、情報格差がある。今後も情報格差のない真に平等な選挙を目指して、多方面に働きかけ、幅広く運動していきたい。

### 《2014年度 委員会の主な日程》

4月21日	参政権委員会	5月19日	参政権委員会
6月16日	参政権委員会	8月18日	参政権委員会
10月20日	参政権委員会	11月17日	参政権委員会
12月13日	政見放送ビデオ上映会	1月19日	参政権委員会
2月26日	参政権委員会（東京都選挙管理委員会との懇談会）		
2月27～28日	耳の日（委員会の展示を行った）		
3月16日	参政権委員会		

### 【構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会  
東京都手話サークル連絡協議会  
東京都手話通訳問題研究会  
全国要約筆記問題研究会・東京支部



## 6) 協力行事報告

### ① 自立支援センターまつり

センターまつり実行委員

#### 【実施報告】

行事名：第16回 自立支援センターまつり  
実施日：2014年7月21日（月・祝）  
会 場：東京聴覚障害者自立支援センター・リフレッシュ氷川  
実 績 来場者数 … 約460人(招待者など含めたおおよその数)  
パンフレット販売数 … 384部（来賓等招待者に50部位配付）  
ワンコインチケット販売数 … 159枚

#### 【都サ連からの担当実行委員】

河野悠子（都サ連事務局長）  
小嶋直美（手話サークル練馬こぶし会）  
遠藤有子（港区手話サークル麦の会）

#### 【実行委員会】

① 1月30日 ②3月27日 ③4月28日 ④5月26日 ⑤6月30日 ⑥8月18日(反省会)  
計6回

#### 【主な担当内容】

- ・福引きの企画、運営
- ・スタンプラリーの企画、運営
- ・似顔絵コーナーの運営

#### 【要員】

- ・7月19日(福引準備)
- ・7月20日(福引準備・会場準備)
- ・7月21日(当日)

※実行委員会事務局にて、要員の配置を行うため、要員申込など全て各サークルから直接事務局へ行った。都サ連からの要員数25名。

#### 【対応者数など】

##### 1. スタンプ対応者数（実績）

	9時～	10時～	11時～	12時～	13時～	14時～	15時～	16時～	計
自立1F	6	31	54	97	50	20	10	6	274
自立3F	8	31	58	99	55	18	8		277
氷川B1	3	35	72	81	39	24	12	2	268
氷川4F	8	27	41	81	35	19	21		232
計	25	124	225	358	179	81	51	8	1051

※ データを回収できなかった方が1名いましたので、同じ時間帯は同数でカウントしました。

※ 約350人（1人3ヶ所として）が、福引き対象者という結果でした。

## 2. 福引き

### ① 福引き景品数と福引き来場者数

・ 昨年の数量を考慮して、以下を用意した。

賞	景品名	数量
特別賞 10 個	クオカード 1000 円	10
サンリオ賞 93 個	Kitty 折り畳み傘	49
	湯呑+布巾	10
	ステンレスマグ	3
	ステンレスボトル+布巾	2
	収納 BOX	3
	トート BAG+ファスナーマスコット	2
	ボーチ+マイメロレターセット	10
	タオル+リボンシュシュ or チャーム	7
	パスケース+シュシュ	4
	5色ボールペン+シュシュ	3
選んでみま賞 235 個	ミラクル BOX	40
	エコバッグ(グリーンにはシール付)	111
	サンリオサインペン 5 本セット	6
	タオル+布巾+メモ or クリップ	30
	キティティッシュケース+ミニボールペン or ボールペン	48
参加賞 80 個	石鹸+布巾	14
	クリップ+ミニボールペン+のり or メモ	11
	ブックカバー	55
合 計		418

※ 上記全てに「ティッシュ 2 個・テープ 3 個セット」を付けた。

※ この他に子供用として 12 個用意した。

(ア) 福引来場者数は以下の通り。

~12:00	~1:00	~2:00	~3:00	~5:00	合計
40 名	96 名	86 名	64 名	58 名	344 名

子供：5 名

### 【反省と次年度への引継ぎなど】

<要員募集について>

- ① 要員全体をまつり事務局で割り振ったため、バザーや案内等にも割り振られ、いろいろな場所で、いろいろな方々と交流ができ、要員の方々から好評だった。

<スタンプラリー>

- ① 設置場所について  
リフレッシュ氷川 地下1階の場所が分かりにくい。  
12:00~13:00 は、書籍・スタンプとも大変混む。EV前でOK。(自立3階)
- ② 担当時間について  
9時~10時担当の方  
10時前でも、スタッフが見えるのでスタンプ作業の仕事があった。(自立・リフレッシュ共に)  
16時~17時担当の方  
リフレッシュ…地下1階、バザー・ディスカッション終了、ラリーのみで淋しい。  
来場者2名。4階は16時で撤収した。  
自立支援センター …1階は16時30分まで福引があるので、来場者6名。  
3階は16時で撤収した。
- ③ スタンプについて  
インク、スタンプともに古くなったため、新規購入した方がよい。  
シャチハタ式がよい(1時間に80人以上対応した方からの意見)
- ④ 会場案内・問い合わせについて  
タイムスケジュール表(催し物とその時間等)を各ポイントに置いたので、説明が出来た。  
パンフのトイレの場所が分かりづらかった。絵でなくWCと入れてほしい。
- ⑤ その他(個人意見)  
無料で配ったウチワが好評だった。(同意見4件)  
福引きの賞品に男の子用が無かった。
- ⑥ リフレッシュ氷川は貼り紙が出来ないので、B1の設置場所は、ドア外の空間はどうか?
- ⑦ 最初に担当する方には実行委員から丁寧に説明できるが、その後の方は申し送りになるため、伝達事項にバラツキが出てしまった。
- ⑧ 午後から担当の方は、まず2階(福引き会場)に集まるよう要員への事前配付資料に記載してあったが、認知していない方が数名いた。
- ⑨ スタンプもだいぶ使い込んだので、シャチハタ式で可愛いものがないか、来年までに100円ショップ等を覗いた折り、心がけておく。
- ⑩ 各担当者1人1人に用紙を配り、スタンプを押した人数や気づいたことなどを報告してもらった。とても参考になったので、次年度も続けたい。
- ⑪ 当日、急遽欠席するなどの緊急連絡はどこに入るのか?  
2名欠席者がいたが、その方が担当時間になっても来ないという状況が起きて初めて知った。
- ⑫ 独自に作成し各ポイントに置いたタイムスケジュール表は、会場等の問い合わせに対して活用してもらえたようだ。(裏になっていて、申し送りが不十分で気づかなかった担当者もいた。)
- ⑬ 9:00から担当する方が全員初めての方だった。スタンプは1人体制なので、迷った時に相談する人がいなかった。(場所を間違えて1階に行き、受付からチラシ配りを指示されたなど)

- ⑭ スタンプラリーの最初の方は、全体説明会 → リフレッシュ氷川 2 階に移動 → 担当別に分かれ仕事等の説明 → 名札・金券・必要書類等の配付 → 質疑応答…その後、各ポイントに散らばる。

スタンプラリー担当の実行委員が、遠い箇所（自立）から最終確認に回ったが、4ヶ所目のリフレッシュ B1 では、次の方との引き継ぎ時間近くになっていた。10 時前でもスタッフが先に押しに来るとの報告もあるので、最初の担当者は、「準備完了～11 時まで」としたらどうか？

また、16 時～17 時は、自立 1 階の担当者のみ福引き担当者と一緒に最後まで残り、他のポイントは撤収して構わないと思う。（特にリフレッシュは大抽選会が始まるので暇になる。）

今回、数的に分かったことだが、12 時～13 時は 1 人で 100 人近い対応をしている。16 時以降をカットした分、12 時～13 時の時間帯を 2 人体制にしたらどうか？

- ⑮ 都サ連担当企画（スタンプラリー・福引き）全体としては、スムーズに進行出来たと思う。

#### <福引き>

- ① 袋詰めの方によって、同じ品物でも「選びたい！」か「ちょっと遠慮」か違いが出ることがわかった。次年度は、要員の方にもその辺を伝えて、素敵なラッピングを心がけたい。
- ② 70 個ぐらい残ったものの、昨年に比べて残りは少なく、来年度は、この数を参考に 400 個ぐらいがよい。
- ③ 要員数は 1 時間交代で、3 名ずつにしたが、ちょうどよい人数であった。
- ④ 当日の備品として以下を用意する必要がある。  
セロテープ・はさみ・マジック・ひも・白い紙・輪ゴム・雑巾
- ⑤ 要員の予定表を事前に配布する方が良かった。  
実行委員会時の記録担当が都サ連だけになってしまい、ちょっと大変でした。

#### <似顔絵>

- ① 19 人受付け
- ② 始まってすぐはなかなか人がこない。午後からの時間に多い。
- ③ 要員は暇だと思いがいと困る。
- ④ 空いた時間に福引の数を数えてもらったが皆さん嫌な顔せず快く引き受けてくださった。
- ⑤ 場所が奥まっているので、部屋に入ってすぐ見えるところ（振り向かなくてもいいところ）にしてはどうかと思った。来年は、レイアウトを再考したい。

## ②耳の日記念文化祭

### 『手話で新しい世界を創ろう』

耳の日記念文化祭 実行委員

第44回耳の日記念文化祭は、2015年2月28日（土）～3月1日（日）の2日間、開催されました。今年は会場が二か所で、バザー・書籍販売・模擬店・軽食など、販売を伴うものは「都立障害者福祉会館」、式典・講演会・福祉機器・団体活動紹介等の展示は「港勤労福祉会館」を使用しました。

「手話言語法」の制定を求め、全国の自治体から国に意見書が提出される現在、メイン企画の記念講演会では鳥取県障害者福祉課課長の日野力氏に「鳥取県の手話言語条例～その経過と内容～」についてお話しいただきました。平成25年10月に全国で初めて制定された「鳥取県手話言語条例」の担当課長として、条例ができるまでと、できた後の動きを裏話も含めてお話いただき、大変好評でした。二日間に分けての講演をお願いしていましたが、都合で一日のみとなってしまったので、土曜日には「手話言語法ってなんだろう？」と題して、聴覚障害者制度改革推進東京本部から東京の状況についてお話がありました。残念なことは、会場が体育館でしたので、後ろの席からは手話が見えない、スクリーンが小さすぎて見えない、音が割れてしまってよく聞こえないなどの声が聞かれました。また、入り口の段差が危ない、2階でエレベーターがないため高齢者や車椅子の方は大変、という声も多数聞かれ、会場のバリアフリーについても今後考えていく必要があります。

日曜日はあいにく小雨が降りましたが、延べ3,149名の来場者がありました。都サ連からは前日準備も含め、3日間で延べ116名の方に要員として協力を頂きました。

都サ連の腕章を付けた方々が100名近く会場にいたことになりまますので、都サ連の力をアピールすることができたという思いの半面、腕章を見た未加盟サークルの方から「都サ連って何？」と聞かれることもあり、まだまだPRが必要だと感じました。

今年の準備は昨年より早く始まったようですが、やはりまだ準備不足だったのではないかと思っています。昨年の反省をいかし、今年是要員説明会前に、実行委員から各担当に説明する日を設けましたが、担当者の出席はありませんでした。要員の募集をもう少し早めにして、要員説明会では各担当からタイムシフト表が配れる状態までもっていきけることが望ましいと思います。また例えば、要員説明会を実際の会場で行い、要員マニュアルには会場図を載せて、案内の立ち位置や控室の確認などを行うと、当日の動きもスムーズです。設営レイアウトも前もって相談し、マニュアルに載せることも可能かもしれません。

都サ連要員の皆さまからお声をいただき、少しずつ問題点をクリアにしながら、毎年少しでも改善できていけば良いと思います。次回の耳の日にも、是非沢山の方々のご協力をよろしくお願いします。

【都サ連からの担当実行委員】

河野悠子（都サ連事務局長）  
林 紀子（手話サークル 杉の会）  
森野郁子（北区手話サークル）

【要員(延べ数)】 116名（前日準備協力者も含む）

【来場者数】 2日間 延べ 3,149名

【実行委員会】 ①2014年9月22日 ②2014年10月27日  
③2014年11月17日 ④2014年12月22日  
⑤2015年1月19日（企業説明会） ⑥2015年1月26日  
⑦2015年2月6日 ⑧2015年2月23日  
⑨2015年3月12日（実行委員反省会）

【拡大実行委員会】 ①2014年11月17日 ②2015年1月26日

【要員説明会】 2015年2月14日

【全体反省会】 2015年3月1日（耳の日文化祭終了後）

【実行委員会の構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
東京都手話通訳問題研究会  
東京都手話サークル連絡協議会

【拡大実行委員会の構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
東京都手話通訳問題研究会  
東京都手話サークル連絡協議会  
公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者自立支援センター  
社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会 後援会  
指定障害者支援施設 たましろの郷  
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会  
認定NPO法人 東京盲ろう者友の会  
NPO法人 全国要約筆記問題研究会東京支部  
東京都要約筆記サークル連絡会  
東京ろう重複者とあゆむ会  
東京聴覚障害者支援センター  
社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター

### ③ たましろフェスタ 2014 in 府中

#### 【都サ連パン屋実施報告】

担当（事務局） 高田、河野、天野、高畑、遠藤

#### < 出店経緯 >

今年度の開催会場は調理をすることができず、予定していた模擬店が少なくなり、特に食事の提供について、実行委員会より都サ連へ支援要請があった。事務局会議で検討した結果、高田代表の知り合いがベーカリーを経営していること、そのベーカリーが事務局員の職場の近くで、対応可能ということから、都サ連でパン屋を出店することとなった。当日までの準備期間が短かく、初めてのことなので事務局で対応した。

#### < 出店内容 >

- ・仕入先：新橋ベーカリー ・仕入数量：5種類 430個（2時間半で完売）
- ・要員：仕入運搬2名、販売5名

#### < 収支報告 >

収入：78770円（売上78,400 釣銭寄付370）

支出：53,770円（仕入れ50,880 運搬費2,890）

残金：25,000円 → たましろの郷へ寄付

収入の部	
科目	金額
●パン売上	
・スパイシーロール @180×100個	18,000
・ハムロール @180×100個	18,000
・カレーパン @170×100個	17,000
・メロンパン @170×100個	17,000
・胚芽イギリスパン@280×30個	8,400
●寄付	370
収入合計	78,770

支出の部	
科目	金額
●仕入	
・スパイシーロール @116×100個	11,600
・ハムロール @116×100個	11,600
・カレーパン @109×100個	10,900
・メロンパン @109×100個	10,900
・胚芽イギリスパン@196×30個	5,880
●運搬費	2,890
●たましろの郷への寄付	25,000
支出合計	78,770


#### < 感想 >

- ・ポップや販売方法など事務局内で相談、分担し、決定から約1カ月で準備～販売できた。
- ・時間がなかったなので、全て事務局で行ったが、時間に余裕があれば要員募集したかった。
- ・意外にも好評だったので、機会があればまたどこかで開店したいという声もあった。

#### (POP)


胚芽イギリスパン  
¥280

主原材料：  
小麦粉、油脂(植物性)、砂糖、塩、  
イースト、ロースト胚芽  
(本日中にお召し上がりください)



スパイシーロール  
¥180

主原材料：  
小麦粉、油脂(植物性)、砂糖、塩、卵、  
イースト、チーズ、ソーセージ  
(本日中にお召し上がりください)



はらへこさん  
いらっしゃい!!

都サ連のパン屋さん

**FOOD MENU**

カレーパン ¥170  
メロンパン ¥170  
ハムロール ¥180  
スパイシーロール ¥180  
イギリスパン ¥280

\*当日中にお召し上がりください\*

★☆☆★

本日中にお召し上がりください

東京都府中サテライト事務局

## ④ 第 26 回 ろう教育を考える全国討論集会 in 東京

実行委員 杉石めぐみ（手話サークル練馬こぶし会）  
高田 直樹（手話サークルまちだ）

ろう教育は従来の聴覚口話法に加え、手話の導入、人工内耳の普及、特別支援教育の影響などで多様化してきていて、幅広い視野からのものの見方や考え方を学ぶ必要があります。また、ろう教育の現場である幼稚部・小学部・中学部では、どのように書記日本語を獲得させるのが重要な課題となっています。

「第 26 回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京」は、2014 年 8 月 2 日(土)～3 日(日)に日本大学文理学部校舎（世田谷区桜上水）で開催されました。

この集会は、ろう教育の発展に寄与するために、毎年各県持ち回りで開催されているものです。東京開催と言うことで、全国各地から事前申し込みと当日参加者を合わせて 500 名を越える方の参加がありました。

特にろう教職員トークセッションでは、ろう学校の現場で奮闘をしているろう教員 5 名の方をお招きし、当事者の視点でろう・難聴教育の本音を語って頂きました。それぞれの学校での特色をお聞きし、指導の難しさをいろいろと考えさせられました。

暑い暑い猛暑の中の二日間であったこと、全体集会会場の空調の容量不足などで、病気になる人がいないことを祈る集会でした。そんな中、会場設営・受付・広報・道案内・誘導・警備・保育・情報保障・書籍販売など二日間で 115 名の方に要員としてご協力を頂くことができました。本当に有り難うございました。

2012 年 12 月に準備委員会が発足してから、本集会までの本当に長い 1 年 8 ヶ月が終わりました。都サ連からの実行委員として参加し、紙面では書ききれないくらい、多くの都サ連の方々に助けられていることを実感することができました。心より感謝申し上げます。

### 【集会までの流れ】

2012 年（平成 24 年）11 月 5 日東京都聴覚障害者連盟理事長宮本一郎氏と教育担当理事浦城直子氏の連名で、「第 26 回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京」の実行委員会への参加と協力をお願い文書が、東京都手話サークル連絡協議会（都サ連）事務局に届きました。

実行委員会の設立に先駆け、2012 年 12 月 8 日に準備委員会が開催され、関係団体が集まりました。都サ連もこの準備委員会に参加し、都サ連として何のお手伝いができるのかを模索することになりました。

2013 年 2 月の代表者会議で、準備委員会に参加していることを報告し、4 月の代表者会議で、実行委員会に加わり活動することの了解をもらいました。実行委員として杉石めぐみ（会計担当）と高田直樹（要員担当）が名簿に載りました。

2013 年 8 月第 25 回長崎集会には、実行委員会として視察に行きました。

2014 年 2 月 1 日に夏のプレ集会として、「第 18 回ろう教育フォーラム in 東京」が開催され、8 月の本番を迎えました。



## 2014年度(2014.4.1～2015.3.31)収支決算報告

収入の部			
	予 算	決 算	備 考
分 担 金	130,000	130,000	26サークル×5,000
雑 収 入	0	118,857	預金利息24円・一日研修会(事務局)108,833円・講演料10,000円
前年度立替金	3,120	3,120	郵送費(H25年度分13サークル)
前年度からの繰越金	190,227	190,227	
合 計	323,347	442,204	
支出の部			
	予 算	決 算	備 考
通 信 費	10,000	10,578	総会資料・関係団体資料郵送料等
F A X 代	2,000	2,000	FAX代
広 報 費	10,000	7,660	耳の日記配布用都サ連パンフレット用紙代
消 耗 品 費	10,000	4,926	コピー用紙・宛名シール・封筒代等
交 際 費	20,000	19,080	関東ろう女性集会・都聴覚障害者大会祝儀・中難協大会・年賀広告(中難・東聴連)、ろう教育広告
会 議 費	10,000	3,900	事務局会議会場費
交 通 費	100,000	135,184	事務局会議・委員会等交通費
事 業 費	10,000	52,347	一日研修会(10月19日)補填52,347円
雑 費	3,000	0	
今年度立替金	0	4,346	欠席サークル資料郵送料立替金
予 備 費	148,347	0	
小 計	323,347	240,021	
繰 越 金	0	202,183	
合 計	323,347	442,204	
特別引当金	600,000	600,000	
合 計	600,000	600,000	
上記相違ない事をご報告いたします。			
	2015年 4月4日	会計	劔持 敦子
上記相違ない事を確認いたしました。			
	2015年 4月4日	会計監査	石井 泰子
	2015年 4月4日	会計監査	川村 まゆみ

## 2. 2015年度 活動(案)

### 1) 活動方針(案)

都サ連 代表 高田直樹

- (1) 東日本大震災と東京都手話サークル連絡協議会(都サ連)  
震災から四年が経ち、被災地は少しずつ落ち着きを取り戻し始めていますが、復興への道のりはまだまだ遠い状態です。引き続き支援に取り組んでいかなければなりません。都サ連としてバスツアー第二弾福島視察を企画し実行したいと思っています。
- (2) 地域活動と東京都手話サークル連絡協議会  
手話サークルの活動は、地域ろう協の活動と車の両輪の働きです。都サ連も東京都聴覚障害者連盟と共に運動協力を進めます。都サ連の組織化のためにも加盟サークルの増加に努力します。  
東京都聴覚障害者連盟を通して、「加盟のお願い」文書の配布
- (3) 広報班の活動の充実
  - ①運動を幅広く進めるために、加盟サークルに限らず未加盟サークルや大学サークルへも訪問し、都サ連加盟サークルの結束と拡充をめざします。
  - ②都サ連パンフレットや腕章を活用し広報活動に活かしていきます。
  - ③ホームページやFacebookを有効に活用し、情報発信や都サ連の活動を紹介します。
- (4) 都サ連としての活動  
昨年度と同様に、関係団体と協力しながら、各種運動・活動を続けていきます。都サ連として、以下の活動に積極的に参加します。( )内は2014年度委員名
  - ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議(高田直樹、林紀子)
  - ② たましろの郷後援会役員会(天野京子、戸部沙織)
  - ③ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会(三村和成、高田直樹)
  - ④ 自立支援センター運営委員会(杉石めぐみ、高田直樹)
  - ⑤ また、自立支援センターまつり、たましろフェスタ、耳の日記念文化祭などに積極的に参加協力します。
- (5) 加盟サークル間の交流と情報交換  
2015年度も代表者会議の進め方や時間の使い方を工夫します。  
加盟サークル間の交流を重視し、情報交換及び交流の方法についても工夫していきます。
- (6) 事務局の体制  
事務局の体制を見直し、運動が継続できる体制作りを目指します。  
事務局員・各委員の募集のしかたを工夫し、加盟サークルのメンバーが参加しやすい事務局を目指します。
- (7) 会計  
本年度も単年度会計の健全化を目指します。

## 2) 年間計画 (案)

事務局長：河野悠子

### 1. 会議等開催日程 (案)

#### (1) 代表者会議

回	月	日	曜	内 容	開 催 会 場	担当ブロック
1	4	29	祝	定期総会	世田谷区 下北沢らぷらす	事務局
2	6	28	日	例 会		城北ブロック
3	8	30	日	例 会		多摩北ブロック
4	10	25	日	例 会		城南ブロック
5	12	13	日	例 会		多摩南ブロック
6	2	28	日	例 会		城北ブロック

#### (2) 事務局会議

回	月	日	曜	開 催 会 場	備 考
1	4	1	水	世田谷区 下北沢らぷらす	
2	4	12	日	板橋区障がい者福祉センター	議案書印刷・発送
3	5	13	水	世田谷区 下北沢らぷらす	
4	6	3	水	世田谷区 下北沢らぷらす	
5	7	1	水		
6	8	5	水		
7	9	2	水		
8	10	7	水		
9	11	4	水		
10	12	2	水		
11	1	6	水		
12	2	3	水		
13	3	2	水		

#### (3) 一日研修会

回	月	日	曜	担 当	開催会場
1				多摩南ブロック	
2				事務局	

## 2. 協力行事&日程（予定）

月	日	曜	行事名	組織等
7	20	月・祝	第17回 自立支援センターまつり	実行委員会
11	8	日	たましろフェスタ 2015 in 新宿	当日要員
3	5/6	土/日	第45回 耳の日記念文化祭	実行委員会

## 3. 来年度の主な活動(案)

(1) 都サ連を知る・都サ連を知ってもらう。

①都サ連のPR・加盟案内

- ・都サ連パンフの活用方法の検討。
- ・区市会長会議での地域サークル加盟のお願い…継続

②都サ連とは何か、加盟サークル間で共通認識をもつ

- ・規約の改正。
- ・それに伴い都サ連の役員組織、事務局会議・代表者会議の位置づけ等の整理。

(2) 加盟サークル同士を知る。

①親睦をはかる

- ・顔の見える会議形態 …継続
- ・都サ連主催の忘年会等の企画 …継続

②情報交換

- ・加盟サークルの活動日一覧表の配付 …継続
- ・サークルからの疑問・質問に対する情報交換 …継続
- ・手話サークルに相応しい例会企画等についての情報交換 …継続
- ・都サ連通信、ホームページ、メールで各種行事・企画を発信・共有する …継続

(3) 話し合いで見つかった問題や実際に行った活動を整理する。

- ・出された意見の集約・整理を行い、次の検討課題につなげる。
- ・紹介してもらった模擬例会・模擬イベント等を、サークル運営の参考資料として応用できる形に都サ連でまとめ、必要なサークルに提供する。

(4) 東日本大震災を教訓として、都サ連で出来ることを考える。

①経過（2010年度～2013年度）

- ・ろう者の見た被災地：「被災地取材して」今村氏・「被災地を訪れて」江副氏
- ・都サ連から高田代表と広報山崎氏が現地視察、会員に現状報告
- ・被災地三県から講師を招いて講演・東京の防災委員を加えての話し合い
- ・宮城被災地へのバスツアーを実施（現地視察・現地サークルとの交流）

②2015年度予定（案）

- ・8/1～2 福島被災地へのバスツアー企画。

2015年度(2015.4.1～2016.3.31)収支予算(案)

2015年度(2015.4.1～2016.3.31)収支予算(案)				
収入の部				
	2013年度決算	2014年度決算	2015年度予算	備 考
分 担 金	135,000	130,000	130,000	26サークル×5000円
雑 収 入	50,924	118,857	0	
前年度立替金	3,840	3,120	4,346	H26年度郵送費立替分未収金4,346円
繰 越 金	152,594	190,227	202,183	
合 計	342,358	442,204	336,529	
支出の部				
	2013年度決算	2014年度決算	2015年度予算	備 考
通 信 費	7,040	10,578	10,000	総会資料26サークル×80円 都サ連通信10団体×6回×80円
F A X 代	2,000	2,000	2,000	FAX代
広 報 費	0	7,660	10,000	都サ連パンフレット作成費
消 耗 品 費	4,322	4,926	10,000	封筒、コピー用紙、コピー代等
交 際 費	26,080	19,080	20,000	年賀広告(東聴連、中・難協)8,000円 大会参加費(東聴連、中・難協)8,000円
会 議 費	4,840	3,900	10,000	事務局会議 300円×13回 代表者会議 3,000円×2回
交 通 費	95,180	135,184	150,000	会議・委員会交通費、その他活動交通費
事 業 費	9,169	52,347	10,000	都サ連活動・行事等の補助 (一日研修会・バスツアー等)
雑 費	0	0	3,000	
今年度立替金	3,500	4,346	0	欠席サークル資料郵送費立替
予 備 費	0	0	111,529	
小 計	152,131	240,021	336,529	
繰 越 金	190,227	202,183	0	
合 計	342,358	442,204	336,529	
特別引当金	600,000	※引当金：将来の支出に備え準備してあるお金		

# 東京都手話サークル連絡協議会 会則（案）

（名称）

第1条 本会は、東京都手話サークル連絡協議会と称する。

（住所）

第2条 本会の住所は事務局長宅とする。

（目的）

第3条 本会は、東京都内の手話サークルの恒常的交流と質的发展を図り、聴覚障害者団体及びそれを支援する団体との連携を強めていくことを目的とする。

（構成）

第4条 本会は、東京都内に拠点を置き活動する手話サークルによって構成される。

（活動）

第5条 本会の目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 各手話サークルの抱える問題、課題を協議し、解決を目指す。
- (2) 研修会などの諸活動を行う。
- (3) その他、必要な活動を行う。

（機関）

第6条 本会の活動は次の機関で運営される。

- (1) 総会
- (2) 担当者会議
- (3) 事務局会議

（財政）

第7条 本会の事業年度は、4月1日から翌年の3月31日までとし、事業年度ごとに事業計画と収支予算を作成するものとする。

2 本会の経費は、次の収入によってこれに充てる。

- (1) 各サークルの分担金  
各サークルの分担金は年間5,000円とする。
- (2) その他

3 本会の口座管理は、事務局長が行う。

（ブロック編成）

第8条 本会に所属するサークルは、地域別にブロックを編成することができる。

（総会の構成）

第9条 総会は本会の最高決議機関とし、加盟サークルの過半数の出席を以て成立する。

2 第1回目の会議を総会とする。終了後、必要に応じて担当者会議に移行できる。

3 議決権は1サークルに1つとする。

（総会の議決）

第10条 議決は出席サークルの過半数をもって決定する。

（総会の委任）

第11条 やむを得ず総会に出席できないサークルは、議長に議決権を委任することができる。この場合、委任するサークルは、委任状を事務局へ提出しなければならない。

(総会の付議事項)

第12条 次の事項を総会の付議事項とする。

- (1) 活動報告
- (2) 会計報告
- (3) 活動方針
- (4) 年度予算
- (5) 役員を選任及び解任
- (6) その他運営に関する重要事項

(担当者会議)

第13条 担当者会議は、各サークルで選出された担当者が構成し、原則として年に6回開催する。

(役員)

第14条 総会において、本会の役員として代表1名、事務局長1名および会計1名を選出する。

- 2 役員任期は1年とする。
- 3 本会は、所属サークルの推薦を受けた者を事務局員として任命することができる、
- 4 代表は事務局員の中から、副代表1名を選び、指名することができる。

(事務局会議)

第15条 事務局会議は代表、事務局長、会計および事務局員で構成する。

(会則の改定)

第16条 この会則を改定するときは、総会において加盟サークルの3分の2以上の賛成を必要とする。

附則

この規約は、昭和52年(1977年)2月16日より施行する。

附則

この会則は、平成27年(2015年)4月29日から施行する。

(改定経過)

1. 1990年4月29日(日)開催の第1回代表者会議において  
第7条 1. 各サークルの分担金  
分担金年間3,000円を4,000円に改定。
2. 2003年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において  
第7条 1. 各サークルの分担金  
分担金年間4,000円を6,000円に改定。
3. 2008年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において  
第6条 機関  
「代表は事務局員の中から、副代表(1名)を選び、指名することができる。」  
を追加。
4. 2009年4月26日(日)開催の第1回代表者会議において  
第7条 1. 各サークルの分担金  
分担金年間6,000円を5,000円に改定。
5. 2012年8月26日(日)開催の第3回代表者会議において  
会計事務手続きに伴い、第2条の表記を変更し、第7条に口座管理者を追加。
6. 2015年4月29日(祝)開催の総会において  
「規約」を「会則(条文等の構成を含む)」に改定。

### 3. 役員改選

東京都手話サークル連絡協議会 会則 第14条に則って、下記役員の改選を行う。

代 表 （1名）

事務局長（1名）

会 計 （1名）

副代表（1名）（必要に応じて代表が事務局員の中から指名）

事務局員（若干名）（所属サークルの推薦を受け任命）

今年度の事務局会議は、第1水曜日・夜間の予定

～\*～

その他、都サ連から選出する委員・実行委員・担当者 等

#### 1. 各委員会 委員

東京都聴覚障害者福祉対策会議 委員（第1月曜日・夜間）

自立支援センター運営委員会 運営委員（第2土曜日・午前）

たましろの郷後援会役員会 委員（第2月曜日・夜間）

東京都聴覚障害者の参政権保障委員会 委員（第3月曜日・夜間）

#### 2. 各種行事 実行委員

第17回 自立支援センターまつり（※実行委員会は概ね月曜日の予定）

第45回 耳の日記念文化祭（※事務局会議は概ね月曜日の予定）

#### 3. 当日要員

たましろフェスタ 2015 in 新宿（11月8日(日) 開催予定）

#### 4. 広報班（サークル訪問・ホームページ管理・その他の広報活動）

#### 5. 会議記録担当（福祉対策会議・地域担当者会議など）